

NetCommonsによる学校コミュニティサイト

千葉県立柏西高等学校教諭 清水 達夫

<http://nc.ice.or.jp/kashiwanishi-h/>

1. はじめに

本校は、千葉県の北部、柏市にある創立20周年を迎えた比較的新しい全日制普通科の学校である。本校の位置する場所は、「柏の葉地区」と呼ばれ、東京大学柏キャンパス、千葉大学、東葛テクノプラザなどの最先端の教育・研究機関と、県立柏の葉公園やこんぶくろ池などの自然とがよく融合された街である。つくばエクスプレスの開通によって、未来の情報発信基地「秋葉原」や21世紀を志向する学園都市「つくば」と直結し、今後さらなる進化・発展が期待されている地区である。

本校は、平成19年4月に近隣の柏北高校と統合し、さらに千葉県初の普通科の学びを基盤とした情報理数学科が新設される。現在は、普通科と情報理数科をあわせた、新しいタイプの進学を目指した学校に生まれ変わる準備に取り組んでいるところである。

その取組の1つとして、学校の情報化を推進する手立てとして、NetCommons (<http://www.netcommons.org/>)を導入することにした。

2. NetCommonsとは？

(1) NetCommonsとは

NetCommonsとは、CMS (Contents Management System) と LMS (Learning Management System) とグループウェアを統合したコミュニティウェアである。NetCommonsによって簡単に構築できるサイトとして、次のようなものがあげられる。

- ・e-ラーニングサイト
- ・NPOやNGOのためのバーチャルオフィス

- ・共同研究・学会活動のポータルサイト兼グループウェア

- ・オフィス用グループウェア
- ・ソーシャルネットワークサービス

具体的には、

- ・小学校から大学院までの教育をサポートするためのe-ラーニングサイトの構築
- ・SOHOなど多様な働き方をする人を支援・統括するためのグループウェアとしての導入
- ・NPOのポータルサイト兼バーチャルオフィス
- ・同窓会サイトとしての導入

などが考えられる。

(2) NetCommonsの特徴

NetCommonsには、外部配信向けのポータルサイトの機能 (トップページ)、個人のバーチャルオフィスとしての機能 (MyRoom)、グループの情報共有のための機能 (GroupRoom) が1つのシステムの中で統合されている。

トップページは、メルマガの配信、お知らせの掲示、広告などの機能を持たせることができる。

MyRoomでは、会員それぞれのネット上のオフィスとして、ファイルを保存したり、予定表を管理したり、非公開の日誌をつけたりすることができる。

GroupRoomは、「授業」「共同研究」「委員会」「ミーティング」「関心空間」などの目的で活用することができる。

NetCommonsの操作は、メールに添付ファイルをつけて配信する、というインターフェイスにあわせてある。管理者は、主要ブラウザで閲覧可能な美しくデザインされたサイトを短時間で構築す

ることができる。また、一般参加者でも短時間で操作方法を習得できるようになっている。

3. 導入

従来から本校Webサイトは存在していたが、その道に長けた教員がおらず、平成17年4月に私が本校に着任したときは、更新もままならない状態であった。しかし、このような状態になっている学校Webサイトを見かけることが結構多い。一見すると、すばらしいデザインで、相当手の込んだ仕掛けを組み込んだトップページである場合でも、もう何日も何ヶ月も更新されていないというものも少なくない。学校教育の情報を積極的に発信し、開かれた学校の推進に効果を発揮するはずのWebサイトがなぜ、このような状態に陥ってしまうことが多いのだろうか。

その原因として次のようなことが考えられる。

まず、Webサイトの運営が組織的なものになっていないことがあげられる。ごく一部、場合によっては1人の教員で、毎日のようにWebサイトを更新していくことは、授業や部活動、会議などで1日追われることの多い教員にとっては、大変なことである。立派なWebサイトを作成したところでモチベーションがピークになってしまい、その更新まで手が回らなくなってしまうのであろう。このあたりが「Webサイトはつくることよりも、継続させていくことが大変」であることの所以である。

また、組織化されていなければ、Webサイトを運営している教員が転勤してしまうと、それを継承する教員がおらず、Webサイトの更新が停止してしまうこともある。これも学校内の業務分担の中で、「仕事に人を割りあててのでなく、人に仕事を割りあてている」ことの弊害であらう。

たしかに、Webサイトを構築したり、更新したりするためには、ある程度の専門的な知識や技術が必要といえる。そのため、そういった知識のある人間にだけ負担を負わせた結果、その人がいなくなった途端、Webサイトの運営が滞ることになってしまう訳である。

このような状態に陥らないためにも、Webサイトの運営には組織的な対応が大切ではあるが、それでも日々のWebサイトの更新は大変な作業である。誰もが容易に取り扱うことができる手立てが求められていた。

そんな中、NetCommonsの存在を紹介され、説明を伺うにつれ、NetCommonsがWebサイトの運営・管理上の様々な問題を解決するのに最適なツールであることを知った。NetCommonsの利点は、次のようなことである。

電子メールが使える程度のIT技術さえあれば、情報を更新することができる。

管理者のIDがなくても、ある範囲の権限があれば情報を更新することができる。

特別なWebページ作成ソフト（ホームページ・ビルダー、FrontPageなど）や、文書作成ソフト（Word、一太郎など）がなくても、Webページを作成することができる。

HTML文書に関する知識（タグなどの知識）がなくても、情報の編集や更新ができる。

デザインの才能がなくても、魅力的でよく整理された、見やすいWebサイトを構築することができる。

管理者や職員室の特定のコンピュータからだけでなく、学校内外を問わず、どこからでも安全にWebサイトを更新することができる。

現在のアクセス数や、誰がどこからアクセスしてきたかを把握することができる。

Webサイト運営の業務分担を組織的かつ容易に行うことができ、誰が更新したものを管理・把握することができる。

悪意のあるアクセスを記録し、自動的に排除することができる。

拡張性が高く、IT技術の進歩や学校のITポリシーの変化に柔軟に対応することができる。

などがあげられる。このうち～は、Webサイトの運営を簡単かつ安全にした上で、Webサイトの情報更新の持続性を高めるために重要な利点である。また、～は、Webサイト運営のセキュリティを高め、安全管理の負担を軽減する

ために重要な利点である。 については、NetCommonsが硬直化されたものでなく、ユーザの声に耳を傾け、常によりよいツールにバージョンアップしていこうとする、開発者の強いサポート体制があるということである。また、開発者が国立情報学研究所という公的機関であり、研究目的で開発されていることから、ユーザ側に金銭的負担がまったくないことが非常に大きい。

以上が全般的な利点であるが、本校でNetCommonsを導入するにあたっては、NetCommons運営のためのサーバを、千葉県総合教育センターに管理していただいた。これによって、サーバのメンテナンスなどのハードウェア部分の管理・保守をする業務を行わずにすんだことが一番大きい利点だったかもしれない。

4. トップページ作成

一般のWebサイトにあたるのが、トップページである。NetCommonsを利用してWebサイトを構築しようとするれば、まずここから作成していくことになる。

本校の場合、すでに通常のWebサイトが存在していたので、最初はそこに掲載されているコンテンツを利用することで対応した。

通常、Webページを作る場合は、専用のアプリケーションを利用するか、HTMLタグを打って作成するのが一般的である。

NetCommonsでWebサイトをつくるには、ブログを作成するときのように、「モジュール」を組み合わせることで誰でも簡単にできてしまう。

(1)「お知らせ」モジュール

最も汎用性の高いモジュールであり、一般的に記事を掲載する場合に



利用している。どのモジュールにもいえることであるが、情報の書き込みはワープロ感覚で行うことができ、特別な知識を必要としない点が良い。

(2)「掲示板」モジュール

学校Webサイトでの「掲示板」本来の利用は、学校と生徒、保護者との情報交換が考えられる。本校のWebサイトでは、「掲示板」の機能として、書き込んだ情報が利用者にメールで提供される。このことを利用して、Webサイトの更新情報などを発信している。これにより、Webサイトを常時見ていなくても、新しい情報を確認することができる。



(3)「日誌」モジュール

毎日の学校の様子を簡潔な記事と写真で情報発信できるモジュールが「日誌」である。「掲示板」と同様、書き込まれた情報はメールでも配信されるしくみになっている。したがって、たとえば、ユーザの携帯電話のメールアドレスを登録しておくと、自宅にインターネットに接続したコンピュータがなかったり、外出したりしているときでも学校からの情報を確認することができる。



(4)「キャビネット」モジュール

学校から保護者宛の文書は、通常生徒を通じて家庭に配布されることになっているが、その補完として、Webサイトに配布文書をアップロード

しておき、家庭から自由にダウンロードして利用できるモジュールが「キャビネット」である。

トップページに置くこともできるが、文書の内容によっては、生徒や保護者のみにアクセス権を設定したGroupRoomにアップロードするようになれば、悪意のある第三者に文書が渡らないようにすることもできる。

配布文書							
■学校から生徒を通して配布されて文書は、この下のキャビネットからダウンロードして見ることができます。							
■一覧表示							
現在の場所 ルート アドレス:							
名前	サイズ	コメント	作成者	登録日時	管理	削除	
<input type="checkbox"/> 届出・轉様式	-	-	KW管理者01	2006/04/06 21:24:45	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> H18行事予定表.pdf(40)	144KB	-	KW管理者01	2006/04/07 16:58:53	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> H18保護者会総会のご案内.pdf(31)	71.8KB	-	KW管理者01	2006/05/24 11:52:18	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> H18模擬試験計画.pdf(22)	89.4KB	-	KW管理者01	2006/04/14 11:02:12	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> コン7第19号.ppt(5)	1.4MB	-	なかむら	2006/05/10 11:37:20	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> コン7第18号.pdf(22)	353KB	-	道路指導主事	2006/04/09 15:11:21	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 個人情報取り扱いについて.pdf(5)	119KB	-	KW管理者01	2006/04/14 09:00:15	編集 圧縮	<input type="checkbox"/>	

(5) 「フォトアルバム」モジュール

文化祭や体育祭、部活動の様子など、学校生活の中で特に生徒が活躍している場面を情報発信することも、大切なことである。日々の様子は前述の「日誌」で伝えることができるが、行事の際に撮影した写真をまとめてWebサイトにアップすることができる。そのモジュールが「フォトアルバム」である。スライド・ショーの機能もあり、文字による情報発信だけでなく、画像による情報発信も容易に行うことができる。

5. GroupRoomの作成

たとえば、その学校の「教職員」「第1学年の保護者」「3年2組の生徒」など、それぞれに限定して情報発信することができるしくみが「GroupRoom」である。

本校では、生徒や保護者のみがアクセスできる

ような「GroupRoom」を作成し、運用している。先ほども紹介した保護者への配布文書をアップロードしたり、トップページでは個人が特定されないようにサイズダウンしている「フォトアルバム」も、サイズの大きいものをアップロードしたりできるメリットがある。1年生のあるクラスでは、ホームルームの担任が、「GroupRoom」を利用して、自分のクラスの生徒や保護者が参加できるような「クラスの部屋」を作成している。



6. おわりに

NetCommonsを利用したWebサイトの構築は、まだ始まったばかりである。今後、学校の情報化を推進し、情報発信をより活発なものにするためにも、以下のような点について、今後取り組んでいかなければならない。

教職員向けの講習会を継続的に実施し、NetCommonsの活用促進を図る。

保護者向けの利用講習会を実施し、本校Webサイトの利用促進を図る。

「小テスト」モジュールや「アンケート」モジュールなどを活用した授業支援や、家庭学習の援助を図る。

NetCommons自体は、常に進化し続けるツールであり、ユーザ側から不具合や要望を伝えると、迅速に対応していただけるのがうれしい。

今後も、さらによりよい学校Webサイトの運営に努めていきたい。

<参考資料>

NetCommonsでつくる学びを育む学校Webサイト
(国立情報学研究所)